

Cavitron®

Case Report

インプラント用インサートを用いた臨床応用

大月 基弘

歯科医師

DUO specialists dental clinic



インプラントの寿命を脅かす“インプラント周囲病変”

インプラントの生物学的併発症には、大きく分けてインプラント周囲粘膜炎とインプラント周囲炎が存在する。2015年にヨーロッパ歯周病学会が出したコンセンサスレポートでは、治療が困難なインプラント周囲炎に至る前病変であるインプラント周囲粘膜炎を、セルフケアとプロフェッショナルケアによりコントロールする必要性が強調されていた。しかし、プロフェッショナルケアにおいて、どのような方法でインプラント上部構造の周囲粘膜縁下部のデブリドメントを行えばよいかは明らかではない。また審美優先のインプラント治療が横行している現在、インプラント上部構造の形態のため、セルフケアのみならず、プロフェッショナルケアも困難であることを多く経験する。ここでは、キャビトロンを用いたプロフェッショナルケアと適切な口腔衛生指導により、インプラント周囲粘膜炎をコントロールしたケースを供覧し、ポイントを解説したいと思う。

症例

他院から当院へ転院された患者。患者によると右下3番と4番は根尖性歯周炎の治療後の予後不良のため抜歯となり、インプラント埋入と同時に骨再生誘導法が行われたそうである。インプラント治療後約3年が経過しているが、同部の違和感とブラッシング時の出血を主訴に当院来院となった。

診断のための検査として、同部のプロービングとデンタルX線写真撮影を行い、インプラント周囲粘膜炎と診断した(図1,2)。



図1: 初診時口腔内写真とデンタルX線写真



図2: インプラント周囲のプロービング時に著しい出血を認めるが、インプラント周囲辺縁骨の吸収はデンタルX線上で認められないため、インプラント周囲粘膜炎と診断。

患者への詳細な口腔衛生指導を行った後、インプラント上部構造の周囲粘膜縁下部のデブリドメントには、主にキャビトロンのインプラント用インサートと専用のプラスチック製チップを使用し、主訴の改善を試みた(図3)。



図3: インプラント専用インサートに装着するプラスチックチップは、インプラント周囲粘膜下部に挿入しやすい形状と先端の細さを有しており、周囲粘膜縁下部へのアクセスは良好である。本症例ではアバットメントとインプラント体の境界までチップ先端が到達し、デブリドメントを適切に行うことができた。

2か月後にインプラント部以外での必要部位にデブライドメントを行った際、インプラント部の炎症の消退を確認するためにプロービングを行った。初診時の著しい出血が消退し、インプラント周囲粘膜は健康を取り戻していた(図4,5)。

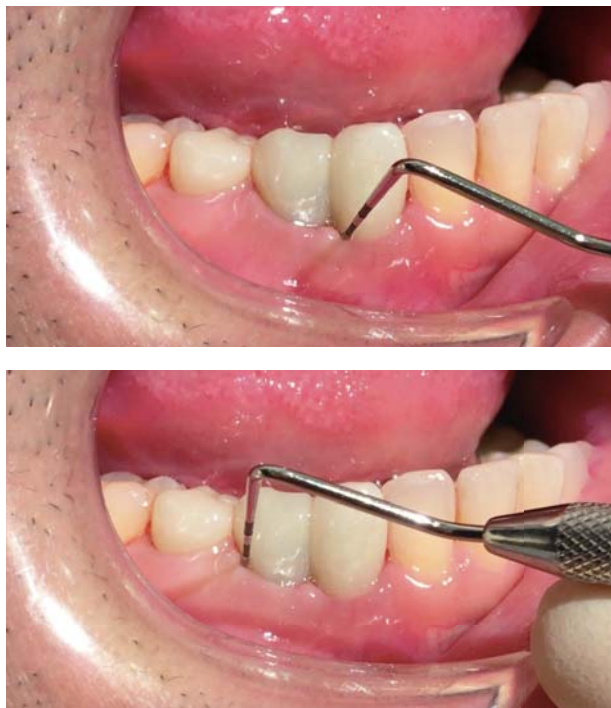


図4, 図5: インプラント上部構造周囲粘膜縁下部のデブライドメント後、2か月後のプロービング時の状況。右下2,5,6部には同日のデブライドメント後の出血を認めるが、インプラント周囲にはプロービング時の出血を認めない。

(術前)

PPD	右下4	右下3
m	5	4
b	3	3
d	4	5
l	3	3

(2ヶ月後来院時)

PPD	右下4	右下3
m	3	3
b	3	3
d	3	4
l	3	3

プロービングチャート(赤字はBoP(+))

インフェクションコントロールは器具をいかに届かせるかが重要

インプラントを長期にわたり機能させ、周囲組織の健康を維持するために、インプラント周囲粘膜縁上縁下のインフェクションコントロールは必須である。しかし、プロフェッショナルケア時に使用する清掃器具の多くは、インプラント上部構造の周囲粘膜縁下部への到達性に難がある。器具が届かなければバイオフィルムを機械的に破壊することはできず、インプラント周囲粘膜炎を消退させることはできない。

超音波スケーラーを用いたプロフェッショナルケアも代表的な方法の一つである。インプラント上部構造の周囲粘膜縁下部に届きやすいチップを有するキャビトロンは、臨床的実感としてインプラント上部構造の周囲粘膜縁下部にチップ先端を到達させやすく、円錐状のチップ先端形態が狭い部位に挿入しやすく設計されている。本症例ではその特徴を生かして治療を行い、良好な結果を得ることができた。

超音波スケーラー「キャビトロン」を使う理由

チップの振動が楕円に動くマグネット式超音波スケーラーということで、チップの4面(側面・背面・内面)が使用できるというシンプルさが非常に気に入り臨床にも、教育にも採用している。上記に述べたように、歯周治療だけでなく、インプラントのメンテナンスにおいても、専用のインサートと共に使用するディスプレイのプラスチックチップの形状が狭い部位に挿入しやすく、かつ程よい固さを有するため施術しやすいのがポイントである。



販売名:キャビトロンタッチ 一般的名称:歯科用多目的超音波治療器 医療機器認証番号:230AIBZX00002000 クラス:クラスII(管理・特管)

製造販売元

デンツプライシロナ株式会社

本社/〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

<http://www.dentsply-sankin.com>

カスタマーサービス

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝祭日を除く)

☎ 0120-789-123 FAX:0120-120-659